

# 带状疱疹ワクチン任意予防接種費用助成について

## 带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が皮膚に分布している神経にそって帯状に出現する疾患です。子どもの頃に水痘（みずぼうそう）にかかり、成人の9割以上の方が抗体を持っていると言われています。しかし、带状疱疹の発症は50歳以上が多く、加齢による免疫力の低下が原因と考えられ、毎年約60万人が発症し、80歳までに約3人に1人が経験すると言われています。

## 带状疱疹ワクチン任意予防接種費用助成について(1人1回限り)

対象 占冠村に住民登録のある満50歳以上の方

費用 自己負担額の2分の1に相当する額（助成額に上限あり）

村外で接種する場合は一旦全額自己負担してください。後日、領収書、身分証明書又は身分証、通帳を持参し、住民課又はトマム支所までお越しください。

## 带状疱疹ワクチン(任意予防接種)について

带状疱疹ワクチンは、任意予防接種です。実施は医師と相談し、ご自身で判断してください。予防接種の予約申込は、医療機関へご連絡をお願いします。

名称 (販売名)	乾燥弱毒生水痘ワクチン (ビケン)	乾燥組換え带状疱疹ワクチン (シングリックス)
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回 (1回目から2か月あけて2回目を接種)
対象	50歳以上	
助成額	上限5,000円	上限10,000円×2回
接種方法	皮下注射	筋肉注射
発症予防効果	69.8%	96.6%
持続性	5年程度	9年以上
副反応	接種部位の痛み、腫れ、 発赤（3日～1週間程度で消失）  ※非常にまれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病などの重篤な副反応が現れることがあります	接種部位の痛み、発赤、腫れ、筋肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱など（3日～1週間程度で消失）  ※非常にまれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病などの重篤な副反応が現れることがあります
接種を受けられない方	・化学療法やステロイドなど免疫を抑える治療をしている方 ・先天性、後天性免疫不全状態の方 ・強いアレルギー症状のある方 ・明らかな発熱（37.5以上）のある方	・強いアレルギー症状のある方 ・明らかな発熱（37.5以上）のある方

※村立診療所の場合の自己負担額：生ワクチン3,300円、不活化ワクチン10,000円×2回

問い合わせ：占冠村住民課 電話56-2122